

会員の声



働けることへの感謝

山本 俊夫 (篠原)

シルバー人材センターにお世話になり、早や3年目を迎えました。

退職後、体調を崩し療養をしながら農作業を中心に働いていましたが重労働が体力的に無理であった為、農作業は休止し、軽作業であれば働けることが出来るのではと思い、シルバー人材センターを訪問しました。

事務所の方より親切に仕事の内容等の説明を受け、私にも合った軽作業も受注しているとの事で加入登録をさせて頂きました。当初は体力的な不安もありましたが会員様の手助けを頂きなんとか勤めさせて頂いています事に感謝申し上げます。

又、センターより作業の安全第一、体調管理等の指導を受けながら努めさせて頂いています。

そして何よりも発注者の方より「ありがとう」「明日もよろしく」との声を受けた時は仕事のやりがいを感じ明日もがんばろうと思うと同時に働ける事に感謝をしています。

今都会では若者に代わる新たな労働力として、シルバー人材が労働力の一翼を担っていると伺っています。本町においても過疎高齢化が進む中で若者に代わる労働力として期待されていると思っています。

今後少しでも地域貢献が出来る様に事務局、諸先輩方の指導を受けながら努めて行きたいと思っています。又、センターの諸活動にも参加させて頂きながら健康に留意し頑張っていきたいと思っておりますので今後共よろしくお願い致します。



充実の毎日です

木佐木 あけみ (グリーンハイツ)

シルバー人材センターに入会して、早や十年過ぎました。

現在は昨年開通された京都縦貫自動車道の京丹波パーキングの清掃作業に携わっています。最初は慣れない仕事と、思いもよらない数のお客様の利用で、てんやわんやの日々でした。約一年がたち、仲間の会員の皆様とお互いに助け合い毎日を頑張っています。

この頃では、お客様から温かい言葉や励ましの言葉をいただいたりしてとても嬉しい時もあるのです。

これからも健康に留意し元気で楽しくすごしたいと願っています。



希望と感謝

国宗 安一 (みのりヶ丘)

私がシルバーに入会して早や4年目に成ります。

入会当初にまずびっくりしたのがシルバーセンターには「多種の仕事」の有る事でした。今では指導を受けながら少しずつですが仕事を体験させて頂いています。

草刈りを筆頭に、剪定の補助、グラウンド整備、溝掃除、宿直、水道メーターの検針等々です。

60歳を過ぎてやる気になればなんでも少しずつ出来る自分に希望を持ち、ご指導下さいました関係の方々会員の仲間の皆さんに感謝をしています。



御安全に

石田千賀男（中台）

私は昨年4月よりシルバー人材センターに御世話になっています。最初の仕事は、高速道路工事現場でのダンプカーのタイヤ洗い、稲の種まき、発芽後のビニールハウスへの移動、土木工事等の仕事をやってきました。今は昨年七月に開通した京都縦貫自動車道の京丹波パーキングで働いています。

毎日多くの人と接し色々勉強しております。

これからも身体の続かぎり、シルバー人材センターにお世話になり健康のために働いていこうと思っています。今後ともよろしくお願いします。



入会10年を振り返って

東 勝（高岡）

シルバー人材センターが発足し最初の事務局長に僕の親友が就任致し、今後の前進を願い入会の依頼を受けたのが始まりで早くも10年の年月が過ぎ去り、今年の2月には設立10周年の記念式典が盛大に行われました。その席で恥ずかしながら事業の発展に貢献されたとのことで表彰の栄に預かり、私の人生にとってすばらしい一頁を残すことが出来ました。振り返って見れば農作業を始め多種多様な作業を体験する事が出来ました。その中には初めて訪れる遠くの地区での仕事をさせて頂き、地元の方々との会話や見慣れぬ風景を眺める事が出来、最高の勉強になり楽しく生きがいのある高齢時代を過ごすことが出来大変喜んでおります。

今社会では、少子高齢化が進み、特に山村地域ではその率が高く、加えて若人が街へ流れ、農地の荒廃、空家の増加等により、シルバー人材センターの役割が益々重要であり、先祖が苦勞して残した尊い財産を守って行くべく足腰を益々強くして行かなければならないと思います。

後になりましたが、元気で今日を迎えることが出来ましたことはシルバー人材センター事務局の皆さんをはじめ多くの会員の皆さんの大きな支えと親切な御指導の賜であり心より感謝とお礼を申し上げます。



生き甲斐としての仕事と趣味

三津 暉子（大朴）

京丹波町の住民になって6月で丸5年。すぐシルバーの会員になり運良く翌日から三ノ宮の発掘の仕事を紹介して頂きました。それからは途切れる事なく仕事を紹介して頂き有難い事だと感謝しております。今迄に従事した事がない仕事なので、鈍臭い私はなかなか上手くいかず周りの皆様に迷惑をかけながら皆様の温かい御気持で何とか続けさせて頂いております。

60の手習いで趣味として続けていた民謡の唄と三味線では準師範そして昨年の10月には東京本部の家元の前で何とか師範に合格する事が出来ました。まだまだ修行の身。毎月3回大阪迄通っています。いつ迄両立出来るかわかりませんが、続けられる限り続けたいと思っています。「他人の振り見て我が振り直せ」「自分がされて嫌な事は他人にするな」私が子供の頃に母親からよく言われた言葉です。なかなか思う様には行きませんが、自分に言い聞かせながら、これからも、チャレンジ精神で頑張っていこうと思います。こんな私ですが、皆様これからもよろしくお願い致します。